

# たてはく



開館30周年記念・前期特別企画展

## 立山信仰と山麓のくらし

—国指定重要有形民俗文化財「立山信仰用具」の世界—

会期：令和3年7月17日(土)～8月29日(日)

昭和45年に、立山芦峯寺集落の<立山信仰関係用具及び山樵関係用具>1,083点が「立山信仰用具」として重要民俗資料（現：重要有形民俗文化財）の指定をうけました。

そして、令和2年3月、岩峯寺集落の宿坊である延命院・多賀坊・中道坊に遺されていた民俗資料を中心に、芦峯寺集落の旧宿坊家に遺されていた特徴ある資料もあわせて、新たに160点が国の重要有形民俗文化財「立山信仰用具」に追加指定されました。これにより、総数が1,243点となりました。

この資料群の中から厳選し、立山信仰の特徴と魅力が楽しめる「立山信仰用具」の世界を紹介するとともに、諸国の立山登拝者の様子や立山山麓のかつての宿坊景観、生活文化などをわかりやすく紹介します。（細木ひとみ）

### ●企画展担当学芸員による展示解説会

7月17日(土)、8月9日(月・祝)、8月28日(土)  
いずれも14:00～

### ●ギャラリートーク

講師：加藤基樹氏（文化庁 民俗文化財調査官）  
開催日時：8月1日(日) 14:00～15:00  
場所：展示館1階 企画展示室

### ●岩峯寺集落を歩こう

開催日時：8月22日(日) 13:00～15:00  
集合場所：雄山神社前立社壇（岩峯寺）の大鳥居下  
◎事前申込不要、参加無料。  
◎小雨決行。中止の場合、当館HP等でお知らせいたします。

※参加人数を制限する場合があります。HP等でご確認ください。



会場 展示館1階 企画展示室

開館時間 9:30～17:00（入館は16:30まで）

観覧料 一般200円、大学生100円 ※高校生以下無料

会期中の休館日 7/26(月)、8/2(月)

※7/16(金)、8/31(火)、9/1(水)は、臨時休館致します。

## 目次

開館30周年記念・前期特別企画展

「立山信仰と山麓のくらし 一国指定重要有形民俗文化財「立山信仰用具」の世界」 ..... 1

たてはく新任紹介 ..... 2

学芸課発 立博雑学

第1回 横山大観が描いた「立山」 ..... 3

ボランティア総会・第1回教養講座 ..... 3

デジタル解説モニターを設置しました ..... 3

夏の催し物案内 ..... 4

編集後記 ..... 4





## たてはく 新任紹介



館長  
岡田 知己

この度の人事異動で2年ぶりに立山博物館に戻ってまいりました。3度目の勤務となります。多くの皆さんからお帰りなさいと言われ、大変うれしく思います。職責の重さに緊張と不安で一杯ですが、立山博物館のさらなる発展に全力を尽くすつもりです。

立山博物館は今年開館30周年を迎えます。平成3年11月1日、富山県のシンボルともいえるべき立山の自然や歴史、文化について総合的に調査・研究を進める「立山学」の拠点として、立山信仰ゆかりの地である立山町芦峯寺に富山県初の県立博物館が誕生しました。

平成7年7月7日には野外施設「まんだら遊苑」が開苑し、ここに芦峯寺地区全体を一つの博物館とする広域分散型施設が完成しました。これからも、常に斬新で心に響く情報提供ができる魅力ある博物館であるよう、より一層努めて参ります。

さて、平成29年(2017)のことですが、日本学術会議が「21世紀の博物館・美術館のあ

るべき姿—博物館法の改正へ向けて」という提言をまとめました。その中に、「…学芸員は収集、登録、保管、展示、説明・助言・指導等の教育普及、保存・修復等を主につかさどる現状だが、職務の十全な遂行には、研究こそが不可欠である。学芸員が「博物館資料」を研究するには、関連する人類遺産に関わる広範で深遠な研究が必須である。…」とあります。この「職務の遂行には、研究こそが不可欠である」という言葉に、これこそが開館30周年を迎える立山博物館に求められていることだと確信しました。

この記念すべき年に、当館学芸員の研究が人類遺産に関わる広範で深遠な研究として広く県民の皆さんに認められ、さらには立山博物館の新たな挑戦の始まりの年となるよう、私自身全力で博物館運営に取り組む所存です。

皆様には、どうか今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



学芸課主任 石崎 康弘

私にとって立山博物館とお隣の雄山神社は、以前から心惹かれる場所で、不思議なご縁を感じています。昨年度は高1の担任をしながら、富山大学教職大学院で、近年注目されているマインドフルネス(瞑想)やコンパッション(仏教でいう慈悲)を取り入れた、心理的教育プログラムの勉強をしていました。これから立山の自然、信仰など、いろんなことを学んでいきたいと思ひます。末永くどうかよろしくお願ひいたします。



学芸課学芸員 坂口 舞

日本古代の神仏習合や神像の研究をしています。神奈川県出身で、立博に来る前は同県茅ヶ崎市で学芸員をやっていました。神仏習合と独自の信仰が根付き、多くの古い神像がある立山に来られたのは何とも不思議なご縁で、立山が呼んでくれたのかとさえ思ひます。趣味は食事と料理で、4月はお裾分けの新鮮なごごみの美味しさに感動しました。信仰や文化に限らず、立山の素晴らしさを多くの方に伝える学芸員になりたいです。



施設管理課副主幹 毛利 成宏

4月1日付で富山県民会館から異動してきました。立山周辺には小さいころからキャンプやドライブなどでたびたびお邪魔し、立山の大自然を堪能させてもらっていました。これからは楽しむ側から楽しませる側として、ご来館者様や地域の皆様方に、安全で安心して利用していただける施設になるよう努めさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。



展示館受付 斎藤 菜穂子

かねてより雄山神社に参拝する機会が度々あり、立山信仰に興味を抱いていたので、勤務できて嬉しひです。立博は立山の歴史を学べる素晴らしい施設ですが、霊獣・クタベが特に気に入っています！感染症から人々を守ってくれる存在ですので、ぜひ見に来てください。お客様一人一人との出会いを大切に、精一杯誠意を尽くします。



まんだら遊苑受付 佐伯 啓子

芦峯寺に暮らして40年近く経ちますが、立博30周年に際して開館時を思い出します。地元芦峯寺で日々身近に立山信仰を感じ、立山に守られていることを感謝していますが、この度、伝統と歴史と誇りを改めてより深く実感します。ご来苑のお客様にこの思いを伝えられるよう、頑張ります。

遙望館映像制作(映写係) 土肥 秀明

この4月1日より、遙望館で映写係をしています。しばらくの間お世話になります。よろしくお願ひいたします。

遙望館映像制作(映写係) 村椿 稔

映像上映後、スクリーンが上がり霊峰立山を仰いだ瞬間、毎回心が洗われる感覚を味わっています。一人でも多くのお客様に、この感慨を味わってもらえたらと思っています。







学芸課 発

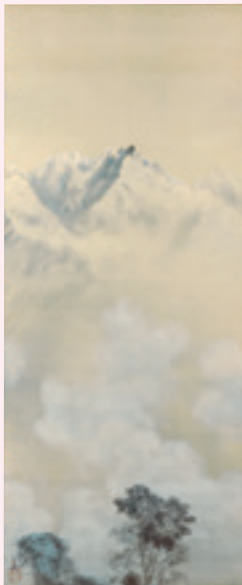
## 立博雑学



この度、山岳集古未来館資料紹介にかわって、学芸課によるリレー形式のコラムが始まりました。立山や立博についての<sup>うんちく</sup>蘊蓄や魅力を、雑学としてお伝えするコーナーです。

## 第1回 横山大観が描いた「立山」

昨年度開催の前期特別企画展「立山があるある展」において、県水墨美術館が所蔵する横山大観（1868-1958）作《立山遠望》（明治35年頃（1902））が展示された。大観は35年に実際に立山に登り、後に「越中立山の頂上から望む富士はまことに良い」との言葉を残している。ところで、担当の森山主任から、鬼岳あたりでこう見えるらしいと聞き、確かめに行った。好天に恵まれた8月26日、一ノ越を経て浄土山、龍王岳、そして鬼岳東面へ。それぞれのポイントで撮影した写真を並べるが、実際に探し歩くと、ここという場所はないことが分かる。恐らく、大観が歩いたところどころでの写生をもとに、景観の特徴を盛り込みつつ風景から得た印象を足し合わせて創り出した「立山」なのだろう。画家が風景を描く際には、实景をそのまま描写するばかりでなく、あえて変更することは多い。加えて本作の場合、横方向に広がる景色を縦方向の掛軸に描くため、何らかの工夫を必要としたはずである。それゆえ、手前に実際には無い尾根を、奥に山を配することで雄大さを強調し、さらに、遠景の山々と近景の樹木や鳥を上下に描き分けることで、手の届かない高みに存在するかのよう演出したものと思われる。（鈴木博喬）



《立山遠望》  
富山県水墨美術館蔵



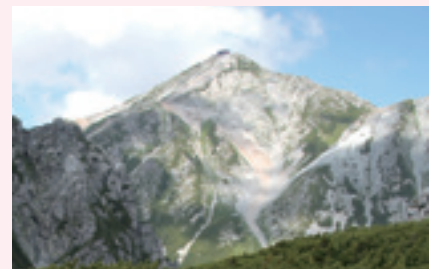
部分拡大



浄土山から一ノ越へ下ったところから見る雄山



龍王岳山頂付近から見る雄山



鬼岳東面から見る雄山

ボランティア  
活動報告

## ボランティア総会・第1回教養講座

4月10日（土）午前10時から10時30分にかけて、令和3年度ボランティア総会が開催されました。昨年度はコロナ禍により、ボランティアが活動する多くの行事が中止となりましたが、今年度は今一度、ボランティア活動を盛り上げていこうと話し合いました。

総会後の第1回教養講座では、城岡朋洋前館長をお招きして、「立山信仰と女性」というテーマでお話いただきました。男尊女卑の時代の中で、立山信仰が救済を求める多くの女性を惹きつけ、江戸城大奥ともつながりが深かったことや、その信仰の核となるものが「おんばさま」であったことなどを、城岡先生はユーモアをまじえ、楽しくわかりやすく語って下さいました。今年度も立山博物館ボランティアは、自然や歴史を自ら学び、それを多くの方々に楽しく伝えていく活動をしていきたいと思います。（石崎康弘）

写真：（上）佐伯照代表の挨拶、（下）城岡前館長による講座



## デジタル解説モニターを設置しました

展示館3階の精密な地勢模型（山岳ジオラマ）は、立山の地形をありのままに感じていただけるよう、あえて山名などの表示を全くしていません。しかし、それが分かりにくさにつながってしまいます。この度、少しでも理解を深めていただこうと、タッチパネル式の解説モニターを設置しました。模型の画像上に主な山名や名称が表示され、实景の写真とともに説明がご覧いただけます。是非一度触れてお試ください。また現在の説明は、山の名前3つ、特異な景観5つですが、今後増やす予定です。（鈴木博喬）





# 夏の催し案内

イベントの詳細は  
博物館まで  
お問合せください!

## ◆立博ぶらり探訪

開催日：7月24日(土)  
時間：13:00~15:00  
場所：展示館(企画展)・教算坊・閻魔堂ほか  
参加費：無料(雨天決行)  
※定員15名、要事前申込。申込締切は7月14日。  
応募者多数の場合は抽選を行います。  
詳細はチラシをご覧ください。

## ◆ミュージアム de ナイト in 芦峯寺

開催日：8月7日(土)・8日(日)  
時間：18:00~21:00 ※入館は20:30まで  
場所：展示館・教算坊・山岳集古未来館  
観覧料：常設展・企画展観覧料  
山岳集古未来館・教算坊は無料。

## ◆開館30周年記念講演会 「地方再生と文化」

講師：青柳 正規氏(立山博物館顧問・元文化庁長官)  
開催日：8月21日(土)  
時間：14:00~15:00  
場所：サンシップとやま1階福祉ホール  
※要事前申込、詳細はチラシをご覧ください。

## ◆まんだらナイトウォーク -光りと香りのページェント-

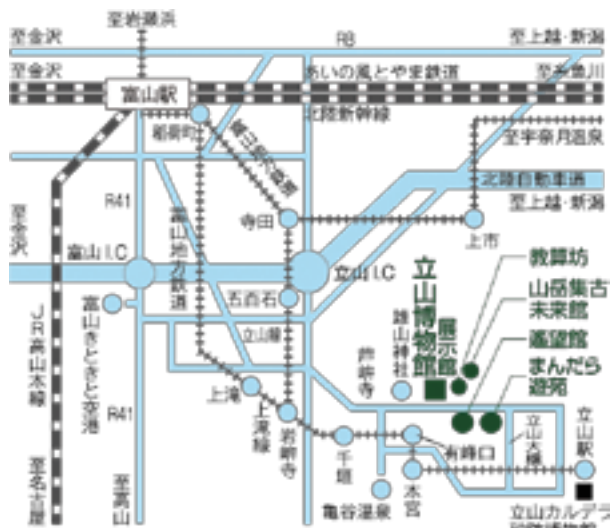
開催日：9月4日(土)・5日(日)  
時間：18:30~20:30 ※入苑は20:00まで  
場所：まんだら遊苑  
観覧料：一般400円、大学生以下と70歳以上は無料

### 【おことわり】

本号に掲載する各種行事は、新型コロナウイルス感染症対策やその他の事情により、内容変更や中止の可能性があります。その際は適宜当館HPにてご案内いたします。詳しくは当館までお問い合わせください。また、当館をご利用の際は、以下の項目についてご協力をお願いいたします。

- ・マスクの着用、手指の消毒、検温をしてください。
- ・受付や展示観覧中、他の方と一定の距離を空けてください。
- ・発熱・咳などの体調不良がある方はご利用をお控えください。

### 案内図



## ミュージアム de ナイト in 芦峯寺

~二夜だけの、地獄ミュージアム~

8月7日(土)・8日(日・祝)  
18:00~21:00 ※入館は20:30まで



お待たせしました、今年はコロナ感染症対策をとって、夏の夜のイベントが戻ってきます。

展示館と教算坊庭園にインスタ映えするライトアップをします。「特別バージョン・立山曼荼羅絵解き解説会」はじめ、楽しく参加できる企画をご用意してお待ちしています。

## まんだらナイトウォーク

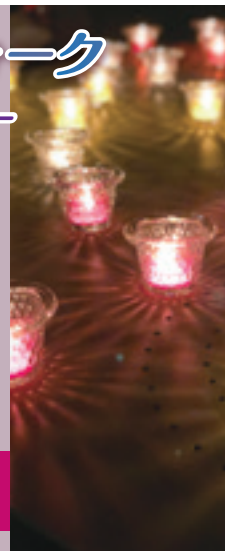
-光りと香りのページェント-

9月4日(土)・5日(日)  
18:30~20:30  
※入苑は20:00まで

夜の「まんだら遊苑」内をライトアップし、夜間でしか体験できない空間を創出します。

無数のアロマキャンドルの光りや香りをお楽しみください。

※今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者事前申し込み制を予定しております。



### 編集後記

コロナ禍にあって一年経ちますが、未だ収束せず不安な状況が続きます。学芸員は、状況改善のために直接的に関与できる職業ではありませんが、今を教訓として遺し、後世に伝えていくことが求められているように思います。(坂口)

- 最寄り駅  
富山地方鉄道立山線千垣駅  
下車徒歩(約2km)  
※日曜を除き町営バス運行  
「雄山神社前」下車すぐ

立山博物館のホームページはこちらから。



- 自家用車で  
JR富山駅から 約45分  
立山駅(千寿ヶ原)から 約15分  
富山インターチェンジから 約35分  
立山インターチェンジから 約30分

人間と自然のかかわり方を学ぶ



## 富山県[立山博物館]

〒930-1406 富山県中新川郡立山町芦峯寺93-1  
TEL 076-481-1216 FAX 076-481-1144

<https://www.pref.toyama.jp/1739/miryokukankou/bunka/bunkazai/home/index.html>



Facebookと



Twitterあります!

立山博物館

